EAR

EAR 834 Custom

プリメインアンプ　¥512,400／TEST REPORT by 篠田寛一

●出力：50W＋50W●入出力端子：ライン5系統（RCAアンバランス）、録音出力1系統、スピーカー出力1系統●入力感度／インピーダンス：200mV／47kΩ●使用真空管：ECC83×2、ECC85×2、EL34×8●消費電力：200W●寸法・重量：405W×150H×405Dmm・20kg●備考：日本限定バージョン

真空管アンプの才人が十分に練り上げた音。上質な光沢感が音を美しく艶めかせる

ユニークな回路設計の真空管アンプで知られる英国EARは、昨年、輸入代理店が変更になった。これを機に、いくつかのニューモデルを登場させたが、834 Customも、その一台。従来よりある834アンプを日本向けにスペシャライズしているという。（編）

EAR（Esoteric Audio Research）は、録音スタジオ用の音響機器の開発・製作に携わってきたティム・デ・パラビチーニ氏が1978年に設立した真空管アンプ主体のオーディオメーカーだ。

ここに紹介する「EAR 834 Custom」は、同社プリメインアンプのベストセラーEAR 834のカスタムモデルである。内容面は、EL34×4／chで組んだ出力段、ECC85（6AQ8）によるドライバー段、ECC83（12AX7）を採用した初段という真空管構成や同社オリジナルの出力トランス、それに出力（50W＋50W）などEAR 834の基本部分を継承しながら、新たに電源部などに手を加え性能向上を図っている。ちなみに、日本だけの特別仕様モデルで100台限定販売という。

＊

本誌リファレンスのスピーカー、B&W 802NTの鳴り方がとても好ましい。まず、低音域が豊かで、しかも少しもだぶついたところがない。そればかりか切れ込みよく弾むのだ。これは本機が優れたドライブ力の持ち主であることの証しでもある。

中音域の上方に乗せた品のいい光沢が全体の音を美しく艶めかせているのも特徴的。スケール感豊かなオーケストラが見事で、またエネルギッシュな演奏で聴く者に迫るピアノトリオも魅力的である。

さらに、感情の起伏も鮮明に表情豊かに歌う女性ジャズボーカルも聴き応え十分だ。

どんな音楽も絶妙なバランスを保ち、やわらかな響きを抑え込むことなく、あるいは細部を曇らせることなくリアルに聴かせる。よく練り上げの効いた音というのが全体の印象である。

■背面：ライン5系統、録音入出力各1系統を装備。スピーカー端子は、天面に備えている。